

《今週号の主な内容》

■先週・今週の報道発表

1. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部を改正する法律案の閣議決定について  
【環境省 平成 29 年 3 月 10 日】
2. 特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律の一部を改正する法律案の閣議決定について  
【環境省 平成 29 年 3 月 10 日】
3. 特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律の一部を改正する法律案の閣議決定について  
【経済産業省 平成 29 年 3 月 10 日】
4. 「港湾法の一部を改正する法律案」を閣議決定  
【国土交通省 平成 29 年 3 月 10 日】
5. 第 2 回災害廃棄物対策推進検討会の開催について  
【環境省 平成 29 年 3 月 14 日】

■RPPC 事務局からのお知らせ

H28 第 2 回循環資源利用促進部会の開催について（4 月 11 日）

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 交通政策審議会第 66 回港湾分科会を開催
2. 交通政策審議会港湾分科会第 10 回事業評価部会を開催
3. 建設発生土官民マッチングで 7 件を実現

=====

◇先週・今週の報道発表

1. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部を改正する法律案の閣議決定について

リサイクルポートに関連して、「有害使用済機器の適正な保管等の義務付け」などが盛り込まれています。詳細は下記をご覧ください

<http://www.env.go.jp/press/103794.html>

【環境省 平成 29 年 3 月 10 日】

2. 特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律の一部を改正する法律案の閣議決定について

詳細は下記をご覧ください

<http://www.env.go.jp/press/103793.html>

【環境省 平成 29 年 3 月 10 日】

**3. 特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律の一部を改正する法律案の閣議決定について**

上記と同様の内容について、経産省からも発表がございます。

<http://www.meti.go.jp/press/2016/03/20170310001/20170310001.html>

【経済産業省 平成 29 年 3 月 10 日】

**4. 「港湾法の一部を改正する法律案」を閣議決定**

詳細は、下記をご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/port01\\_hh\\_000183.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/port01_hh_000183.html)

【国土交通省 平成 29 年 3 月 10 日】

**5. 第 2 回災害廃棄物対策推進検討会の開催について**

詳細は、下記をご覧ください。

<http://www.env.go.jp/press/103802.html>

【環境省 平成 29 年 3 月 14 日】

=====

**◇RPPC 事務局からのお知らせ**

**H28 第 2 回循環資源利用促進部会の開催について**

本年度第 2 回循環資源利用促進部会の下記のとおり開催致します。

日時：2017 年 4 月 11 日（火）午後 3 時～

場所：みなと総研 3 階会議室

ご多忙中とは存じますが、ご参集お願いいたします。

=====

**◇リサイクルポートに関連する最新の情報**

**1. 交通政策審議会第 66 回港湾分科会を開催**

国土交通省港湾局は 3 月 10 日、交通政策審議会第 66 回港湾分科会を開催し、港湾計画として小名浜港の改訂、ならびに佐世保港、八代港、平良港、秋田港、敦賀港、神戸港、高松港、志布志港の各一部変更について審議し、いずれも原案通り適当と答申された。

港湾計画関係以外では、検討を続けて来ている「今後の港湾における中長期政策」について、事務局が中間的にその検討状況を説明し委員から意見を聴いた。

また報告事項として、▽港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針の変更、▽改正港湾法に基づく洋上風力発電の進捗状況について、それぞれ概要を説明した。

当日の港湾計画に伴う審議事項のうち、小名浜港の改訂は、小名浜港に石炭ガス化複合発電（IGCC）プロジェクトが位置付けられたことにより、石炭取扱の増加が見込まれることなどから、東港地区に水深20m延長740mなどを位置付けた。

【港湾空港タイムス】

## 2. 交通政策審議会港湾分科会第10回事業評価部会を開催

国土交通省港湾局は3月10日、交通政策審議会港湾分科会第10回事業評価部会を開催した。

29年度新規事業候補としての妥当性を審議するもので、評価の対象に上げられたのは港湾整備関係として、▽水島港国際物流ターミナル整備事業、▽志布志港ふ頭再編改良事業、▽仙台塩釜港仙台港区ふ頭再編改良事業、▽鹿児島港臨港道路整備事業、▽佐世保港国際クルーズ拠点整備事業、▽八代港国際クルーズ拠点整備事業、▽平良港国際クルーズ拠点整備事業。このほか港湾海岸事業として▽大分港海岸直轄海岸保全施設整備事業。

いずれも新規事業採択評価は適当であると答申された。

【港湾空港タイムス】

## 3. 建設発生土官民マッチングで7件を実現

国土交通省は3月6日、社整審・交政審の環境部会建設リサイクル推進施策検討小委員会第11回合同会議を開催し、「建設発生土の官民有効利用マッチング」について、これまでに7件のマッチングが実現していることを明らかにした。このうち1件は国の浚渫工事で発生した土砂を活用した内容だった。

建設リサイクル推進計画では、官民一体となった発生土の相互有効利用のマッチングを強化するためのシステムを構築することを重点施策に位置付けており、27年6月から情報交換用システムの試行を開始している。

今回、浚渫土砂に関する事業として公表されたのは、北海道北見市で発生した浚渫発生土を、民間所有施設の周辺整地用の埋め戻し材として受け入れた案件。当初は遠隔地に仮置きすることなどが基本になっていたが、マッチングの取組みによりコスト減に繋がった。同工事では土量1万4700立方mのうち、約8000立方mを近傍の整地材として有効活用することができた。コスト縮減効果は搬出側4500万円、搬入側600万円と試算している。

【港湾空港タイムス】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司	新日鐵住金（株）
部会員：山崎 和宣	五洋建設（株）
木村 竜也	東京都
梅木 重光	（株）酒田港リサイクル産業センター
新谷 聡	りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木

URL：[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp) E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

////////////////////////////////////